新熊谷学校給食センター建設工事に関する地元向け説明会　質疑応答（要旨）

No.	質問要旨	回答要旨
1	工事期間中、大型車両が往来するが、1日最大何台程度が走行するのか。 また、通勤車両との競合が生じるのではないか。	往来する工事車両については波があるが、土工事と基礎コンクリート打設工事は車両数が増加する。土工事の際は50台前後、基礎コンクリート打設工事では70台前後が通行する見込みである。 給食センター東側の道路は、平日9時ぐらいまでは通勤車両が多いという認識はある。その間の大型工事車両は数台と思うが速度等に気を付けて通行させる。
2	現状における熊谷学校給食センター東側道路の一般車両交通量は、把握しているのか。	把握していない。
3	工事中に何か連絡をしたいことがあった場合は、インフォメーションボードに記載の連絡先に電話すればよいのか。	お見込みのとおりである。
4	騒音・振動監視警報システムは、一般の通行人等から見える位置に設置するのか。	仮囲いに、設置予定である。
5	杭を打つ予定はあるのか。また、杭打ちで、かなりの振動が生じると思うが、いかがか。	現時点では杭を打つか未定であるが、仮に打つ場合でもアースオーガ工法で実施する予定であり、以前の打ち込みほど騒音、振動は生じない。ただし、杭打ち前後の土工事において、地面を掘る際に重機の音で御迷惑をおかけする可能性がある。騒音基準は厳守し、例え超えてしまう場合においても対策を実施して工事を進める。

6	工事期間中に、既設の道路が、車両通行止めになることはあるか。	東側道路は車両通行止めの予定は無い。片側交互通行となる可能性はあるが、車両の通行は可能である。
7	【STEP3】の図面において、緑色の導線は、一般車両が給食センター内を通行するということか。	給食センター利用者という意味であり、道路の一般通行車両では無い。
8	現況の施設周辺道路において、狭窄しており一般車両のすれ違いが難しい個所がある。本建設工事に伴い、周辺の道路環境の整備も検討してほしい。	本事業内では対応できないが、新熊谷学校給食センター完成後に勤務する職員も増えるため、道路所管課に伝え、検討とさせてもらいたい。
9	熊谷学校給食センター東側道路において、工事中の大型車両が待機していたり、宅配トラックが一時停車していることが多々ある。また、熊谷学校給食センターへの納入業者が待機していることもある。工事車両が待機する場所は、どこか確保しているのか。または、道路上では待機させず、必ず敷地内での待機とするのか。	敷地の中に入れる車両については、必ず敷地内で待機させる。敷地内に入れない場合は、待機場所を確保する予定である。道路上で待機するということは無く、地域住民の皆様に迷惑をかけないよう調整する。
10	【STEP1】の図面において、黄色い点線で示されているインフラ工事予定の道路があるが、水道管が老朽化しているのか、よく水漏れする箇所である。水道部と情報共有し、周辺に影響が無いようにしてもらいたい。また、インフラ工事とは掘削工事となるのか。	インフラ工事とは、ガス管を埋設する工事であり、掘削を伴う。水道管については、水道部と調整のうえ、工事を進める。

11	現在の熊谷学校給食センター建築工事の際、杭打ち等の工事の影響により、家屋に歪みが生じた経験がある。そのようなことが二度と起こらないように、周辺住民に配慮してほしい。	（事業者回答） 事業敷地に接する方については、家屋調査を予定している。家屋調査とは、第三者の会社が、工事前に現状の家屋の写真を撮影し、報告書にまとめ、工事が終わった後、再度確認を行うものである。工事には万全を期すが、万が一、工事前後で問題が生じた場合は、修繕対応する。 （熊谷市回答） 当時は御迷惑をおかけし、大変申し訳ない。今回の工事においては、家屋調査にて対応を行っていくので、御理解いただきたい。
12	工事期間が4年と長期にわたるが、大型車両の通行によってアスファルトの歪み等が生じるものと思料する。工事後の道路の補修や環境整備もお願いしたい。	事業者において都度確認し、必要な補修は実施していく。熊谷市の担当部署にも意見は伝え、御迷惑のかからないように進めていきたい。
13	現在の熊谷学校給食センターの敷地面積と、新熊谷学校給食センターの敷地面積を伺いたい。	現在の熊谷学校給食センターの敷地は約5,500㎡（現センターの駐車場である第3工区は除く）であり、新センターの面積（新たに取得した土地の面積）は約9,200㎡である。第1工区と第2工区を併せて、14,752㎡となる。
14	敷地面積が広いが、何か理由があるのか。	現熊谷学校給食センターを稼働しながら、新熊谷学校給食センターを建築するためである。建築には、法的な緑地の規制や、配送トラック等が安全に通行するための通路や現在の従業員駐車場を第2工区に設けるため、先に回答した敷地面積において整備を行うものである。

15	北側道路の拡幅について、現況幅員と、拡幅後の幅員を伺いたい。	現況幅員は約2mであり、整備によって4mまで拡幅する。
16	工事が4年と長期間に及ぶが、今後も説明会を予定しているか。1回で済ますのでは無く、対応してもらいたい。	現段階においては、説明会は、本日の1回を予定している。どうのようなことができるかはわからないが、意見があったことは承った。